



# 新堀小だより

最終号

令和6年3月26日発行  
校長 若林 寿

元気いっぱい 夢いっぱい みんなが輝く新堀小学校  
新堀小3つの約束「心のこもったあいさつ 時を守る みんな仲よく」  
<http://www.c-niiza.ed.jp/e-shinbori/>



## 開校50周年記念卒業証書授与式・修了式

～100年先の新堀っ子たちも見る桜の花～

『1年間お世話になりました』

春の風が心地よい季節となりました。校庭を見ると、先日、開校50周年を記念して植樹した山桜の木が、100年先の新堀の子たちも見るであろう桜の花の蕾をもう、その枝先に綻ばせています。

保護者・地域の皆様には1年間、本校の教育活動に様々な面でご協力いただき、ありがとうございました。今年度は、楽農会、エレガンスの会、新堀小読み聞かせ会、国際交流サポーターなど、四つの学校応援団活動が始まりました。3月には、来年度のリーダーとなる5年生児童が、今年度お世話になった学校応援団の方々に1年間の感謝を伝える会を行いました。また、4月からは、新たに新入生の学校生活のスタートを支える「1年生スマイルサポーター」活動が学校運営協議会の発案で始まります。子供たちは、多くの保護者・地域社会の方々に見守られ、支えられ、応援されていることを実感し自己有用感を高めながら逞しく育てて欲しいと心から願います。来年度も新堀小学校の教育活動への皆様のご理解とご協力、そしてご支援をいただきますようお願いいたします。

『旅立ちの時』

第50回目の卒業生72名が新堀小学校を巣立っていきました。「社会科見学」、「6年生を送る会」、「卒業式の歌練習や予行練習」など、行事を経るにつれて「卒業」を実感し、中学校への進学への期待、小学校生活への感謝と別れの寂しさが伝わってきました。当日は、式に臨む一生懸命な姿と立派な立ち振舞いに見惚れました。「旅立ちの日に」の熱唱、代表児童の榎本もも花さんの別れの言葉も素晴らしかったです。とても感動的な卒業式でした。小学校生活で一人ひとりが、自信と誇りを身に付けてくれたと信じています。また、小学校生活で学んだこと全てがこれからの生き方につながっていくと信じています。

『Dreams Begin here』

「卒業」は、新たなスタートでもあります。夢やなりたい自分は、これからの出会いで変化するかもしれませんが、気持ちを明るく持ち、希望ある未来を自らの手で創りだしてほしいと思います。立派な伝統を築いてくれた6年生に心から感謝するとともに、中学校でもますます活躍してくれることを期待しています。

『次の学年へむけて新しいスタートを』

本日は、在校生にとって1年を締めくくる大切な修了式です。持ち帰ります通知表(修了証)については、家族と一緒に振り返っていただき、新しい学年への意欲が高まりますようお声かけをお願いいたします。

【パートナーズスクールCAJ】

『オンライン合同授業(外国語・外国語活動)』

3月4日・5日、NSE新堀小とインターナショナルスクールCAJとのオンライン合同授業が遂に3年生～6年生の各学年で実現しました。6年生は、夢やなりたい自分について英語でスピーチをしました。4年生は、自分の好きなものについて英語で交流しました。3年生は、自己紹介やクイズ、質問などのフリートークを行いました。最後は、5年生です。習った英語を使って、積極的にコミュニケーションを取ろうとする中で、多くのことを学んだようです。感想をご覧ください。素晴らしいスマイル&チャレンジでした。

5年生の感想

- 『お互いのことを知れるいい機会だった。』
- 『緊張したけど、だんだん会話が楽しくなった。』
- 『知っていること知らないこと好きなことが知れて、言葉が通じ合って嬉しかった。もう1回やりたい。』
- 『次は、もっと英語で話せるように準備して、もっと仲良くなりたい。』
- 『趣味があった。また交流したい。次CAJに行くときは、何か持っていこうかな。』
- 『英語をはっきり言えるようにしたい。』
- 『もっと分かりやすく話したい。』
- 『不安だったけど、伝わって嬉しかった。』

今後新堀小学校の挑戦は続きます。

To be continue